

白馬村第5次総合計画

評価

(令和6年度実績値)

5段階評価

- 5 : 期待した成果
- 4 : 概ね期待した成果
- 3 : 半分程度の成果
- 2 : 現時点では成果がみられない
- 1 : ほとんど進んでいない

暮らし

安心してみんなが暮らせる村①

■ 評価と主な指標

中分類	R6評価	代表的な指標	基準値 2021	R6実績 2024	目標値 2025
住民参画と協働	2.9	行政区加入率	70%	59% (84%)	80%
開かれた行政運営	3.7	行政Facebook ページフォロワー数	2,080	2,891	3,000
多様な人々の 交流・共	3.0	人口	8,452	8,908	9,000
防災・減災の強化	3.2	支え合いマップ 作成地区数	26	30	30
日常の住みよさの 確保	3.3	運転免許自主返納 支援事業利用者数 (累計)	121	177	250

暮らし

安心してみんなが暮らせる村②

■ 評価と主な指標

中分類	R6評価	代表的な指標	基準値 2021	R6実績 2024	目標値 2025
子育て支援	3.9	年間出生数 (上段：単年) (下段：累計)	40 (40)	31 (166)	44 (220)
障がい者支援	3.9	日中一時支援事業 利用件数	188	540	300
高齢者福祉	3.7	認知症サポーター数	1,359	1,983	1,500
健康づくりと 地域医療の充実	3.6	特定健診受診率	52.8%	53.7%	60.0%
情報通信 技術の活用	3.6	マイナンバーカード 普及率	42%	77%	30%
行財政改革の推進	3.6	村税現年課税 徴収率	98.3%	99.2%	98.5%



産業新しい仕事をつくり出す村

■ 評価と主な指標

中分類	R6評価	代表的な指標	基準値 2021	R6実績 2024	目標値 2025
「世界水準」を意識した観光の村づくり	3.6	冬季観光客数（万人）	75	146	150
		グリーンシーズン観光客数（万人）	82	135	130
優良農地の保全	3.3	耕作放棄地面積A分類（再生可能）	12.9ha	12.2ha	8.2ha
農産物のブランド化と特産品の生産・販売の推進	3.0	特産品栽培面積	8.2ha	12.7ha	10.0ha
森林の整備と活用	3.5	森林整備面積	33ha	38ha	60ha
商工振興創業支援	2.9	創業支援者数（累計人数）	6	20	20
産官学金労言連携	2.3	連携協定に基づき進行中の事業	6	8	5



ひと一人ひとりが成長し活躍できる村

■ 評価と主な指標

中分類	R6評価	代表的な指標	基準値 2021	R6実績 2024	目標値 2025
次代を担う子どもたちの学習支援	3.0	小学校情報端末活用児童数	396	569	690
生涯学習と青少年育成	3.3	公民館講座受講者数	651	843	1,200
スポーツによる健康づくりと活力の創造	2.6	スポーツ協会等主催教室参加者数	4,700	3,844	6,000
人のつながりによる活力の創出	2.4	婚姻数 上段：届出件数 下段：うち村民	100 (42)	106 (44)	150 (-)
男女共同参画社会の推進	3.1	白馬村役場女性職員の課長・係長登用割合	18%	32%	35%



自然魅力ある自然を守る村

■ 評価と主な指標

中分類	R6評価	代表的な指標	基準値 2021	R6実績 2024	目標値 2025
天恵の自然との共生	1.4	環境配慮型トイレへの改修箇所	0	0	2
自然エネルギーの利活用	3.1	小水力発電量（万Kwh/年）	117	140	140
守るべきふるさとの歴史と文化の継承	3.3	村の歴史や文化を知る講座やイベントの開催回数	24	17	15
自然環境に調和したまちづくりの推進	3.3	白馬駅前無電柱化に伴う歩道の修景距離	110m	460m	1,100m
ごみ処理広域化への対応とごみ減量化	3.4	焼却ごみの量（t／年）	2,420		2,800
		リサイクル率	18.8%		30.0%
きれいで安心・安全な水環境	3.5	有収率の向上	43.9%	49.0%	60.0%

白馬村第5次総合計画 - 評価シート

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント	
暮らし_安心して みんなが暮らせる村	多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり	住民参画と協働	行政区の主体的な取り組みの支援	総務課	行政区加入率 ・R3：2,680/3,817（世帯） ・アパート居住者等を除外すれば、9割程度になると見込む	70%	66%	64%	59% (84%)		80%	単身世帯が増え、若年層を中心に加入率が低下しています。 行政からは情報発信に努めますが、今後の地域コミュニティのあり方について各地区と協議していく必要があると感じます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.9	外国人を含めて村外からの移住者や一時的な在留者が増えているが、行政区の成り立ちについて理解されているのか不明。理解や加入を促す取り組みに期待したい。 20代～40代の若い世代が行政区加入の必要性を感じていないように思われるため、それを伝える機会が必要。 行政区加入率向上について各地区役員等の協力体制に期待したい。 行政区加入は最も難しい問題であり、さらなる研究が必要である。昭和50年代から継続している問題であり、特に住民数が増えている地区や自営業者が多い地区にその問題は顕著に現れている。財産区と行政区、地縁・血縁、因習・習慣、自由・人権、長老・家父長制など稚拙な運営と行政区の民主的で透明性・客観性をもった高度な運営の違いなどの問題から考えた方がいい。多様性から生じる問題の解決方法が確立されていない地区がほとんどである。人間関係を構築するのが不得手な人もいる。 白馬村は不動産投資のターゲットになっているため、何らかの方法で村への還元を促してほしい。 多くの農地が投資目的に開発されることに不安を感じる。沿線道路沿いに開発目的にした支線（位置指定道路など）が増え、渋滞や除雪・排雪等の問題が多くなっているように思う。 地区担当職員が行っている具体的な支援業務が分かれば評価しやすい。 屋根雪下ろしなど除雪作業を支援する人が必要。 協働のまちづくり推進の法人への働きかけを望む。	
					地域づくり事業補助金活用地区	23	20	19	20		30	効果的な地域づくり事業が図れるよう、引き続き行政区役員に対して補助制度の周知を図ります。				
			行政区の継続的な活動の支援	総務課 農政課 建設課	集落支援員数	6	6	6	6		5	【総務課】2名 各地区の課題解決の支援及び英語話者への情報発信・通訳業務に従事しています。 【建設課】0名 R6年度は集落支援員の退職により1名減員となりました。 【農政課】3名 2名は草刈、支障木伐採等に従事し、1名は農業振興地域整備計画見直しの現地確認等に従事しています。 【生涯学習スポーツ課】1名 文化財の保護・活用や重伝建地区の支援、公民館活動の推進等に従事しています。				
		住民活動・NPO等の支援	総務課	協働のまちづくり推進交付金交付件数（累計）	2	2	2	2		5	交付件数は2件ですが、認定団体は4団体になりました。 白馬村スキークラブ／白馬インターナショナルスクール／Wonders Art and Music／八方尾根自然環境保全協議会					
		開かれた行政運営	行政情報の発信	総務課	白馬村行政HP PV数 （行政トップページPV数）	152,207	150,256	126,872	146,454		200,000	R6年度から季節ごとにトップページを変更したり、新着情報配信時のタイトルを統一するなど、わかりやすい情報発信に努めました。また、白馬村公式LINEの運用を開始したため、ホームページへの導線を確保できました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	メディア露出も増え、あらゆる意味でも注目を集める地域になっている。 インターネットなどを利用した最新の情報伝達方法も良いが、それらを利用しない高齢者などが取り残されないように配慮が必要。 SNSの発信はよく見かける。フォロワーも増えていて良い。 かなり充実してきている。他の自治体と比較して遜色はないが、さらなる進化を期待する。 行政からのプッシュ式の情報発信をもっと行なってほしい。 X（旧Twitter）やフェイスブックだけでなく、LINEの充実を図ってほしい。 ユーテレ白馬の視聴率がわかれば評価しやすい。 ユーテレの番組の内容を再考してほしい。 地区懇談会の開催時間は地区の要望を聞いてほしい。役場側の出席者は村長だけで良いのではないが。	
					行政Facebookページ フォロー数	2,080	2201	2,527	2,891	2000 3000	情報発信時に画像を用い、わかりやすいタイトルとなるよう意識統一を図ったこともあり、フォロワー数が増加したと考えます。引き続きSNSを活用した情報発信に努めます。					
					ユーテレ白馬加入件数	2,128	2,179	2,191	2,172	2,200	R7年度から11年度までの指定管理者について、プロポーサルを実施した結果、引き続きAICコミュニケーションズを選定しました。今期から社長が交代し、新たな視点や姿勢で魅力的な番組制作等に向けて連携を強めていきます。					
			意見交換の場づくり	総務課	村への施策提案等のシステム構築 （行政懇談会の開催状況：R3・4地区）	0 (4)	0 (5)	0 (11)	0 (25)		1	コロナ禍で懇談を実施していない地区が増えたため、全地区に開催を呼びかけ、25地区で開催しました。 施策提案については、行政ホームページ及び村民ホールの低減箱等で随時受け付けています。				
		多様な人々の 交流・共生	移住・定住の促進	総務課	人口	8,452	8,566	8,739	8,908		9,000	4月1日時点の人口については、冬季に増加する外国人住民の影響が残るため増加傾向にありますが、通年定住者はほぼ横ばいもしくは微減となっています。また、住宅の確保が喫緊の課題となっています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.0	地価の高騰と家賃の高騰により、移住者・定住者が増えない状況になっている。 若者が帰って来れる環境整備が必要。 優良な定住促進の住宅が供給できるよう、土地開発公社や住宅供給公社等の仕組みを活用してほしい。 定住者の促進と子育て世代が夫婦共に働ける環境づくりを強力に推進してほしい。 人口減少、人手不足等、地域課題解決に向けて、空き家・空き地バンク制度の運用に期待したい。 最も期待されるべき項目であるが、あまり成果が見られない。 デザイナーや芸術家、自然探検家・冒険家等の進化的な人が住みたい「街」を目指している自治体の活動が羨ましい。 外国人世帯を受け入れる体制整備が課題。 多文化共生に関しては、外国人だけでなく、移住者と行政の意見交換があってもいいと思う。またその結果を広報してほしい。受け入れ側の意識を高める必要がある。特に元々の白馬村民の方との意識のズレが気になる。ネイティブVS.リベラルの構造が融和する施策が必要。 ふるさと白馬応援隊は組織を再考して他の事業と併せて推進した方が負担軽減や効果的・効率的だと思う。	
					人口の社会増数	-60	330	273	547		200	4月1日時点の人口については、冬季に増加する外国人住民の影響が残るため増加傾向にあります。				
					地域おこし協力隊員数	2	1	1	4		10	採用後の協力隊とのミスマッチが生じないよう職員向け研修を実施し、制度や活用に向けた理解促進を図っています。 住宅数も限られている状態のため、重点施策や将来的な波及効果等も踏まえつつ、適正募集に努めます。				
					移住イベント出展回数	2	2	2	2		4	長野県や広域連携自立圏事業とも連携し、移住イベントに参加し、空き家・空き地バンク制度の活用を含め移住希望者への情報提供を図ります。				
					移住者数	102	20	15	216		80	空き家バンクの運用を開始しましたが、現在登録がなく、需要と供給が一致しない状況です。登録物件の確保に努め、空き家バンク活用に向けた移住定住施策に取り組めます。				
				教育課	総務課	小中学校転入児童生徒数	17	31	24	26		20	海外からの来村者がコロナ禍以前に戻ったことに伴い、転入者や体験入学の問合せが増加しています。今までは重国籍の混合世帯が多い状況でしたが、外国人のみの世帯が増加傾向にあります。			5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない
						税務課	新築住宅戸数（累計）	累計 316 (単年 43)	累計 362 (R4:46)	累計411 (R5:49)	累計438 (R6:27)		380 (R1目標230 + (30棟×5年))			R6新築住宅戸数27棟の内、村内居住の施主が22棟、村外居住の施主が5棟です。これまで増加傾向であった新築戸数が減少した要因は地価高騰にあると思われます。年間の建築件数は80～90棟とここ数年の動きは安定していますが、事業系の建築が増えている状況で、日本人の若年世代よりも資力に勝る事業者や海外資本が高値でも土地を取得してしまう現状が浮き彫りになっています。住宅戸数を目標とするのではなく、移住を希望する子育て世帯等に安価で安全な住宅用地を供給することに取り組む必要があると考えられます。
				多文化共生	総務課	意見交換会開催回数	0	0	1	0		2	R6年度は未実施のため、R7は総合計画策定にも関連づけて開催します。			
						英語版広報誌発行回数	12	12	12	12		12	広報はくぼの発行に併せて英語版広報紙を発行しています。			
				村外の白馬ファンの活用	総務課	ふるさと白馬応援し隊員数	79	79	89	97		80	隊員数は増加していますが、メールマガジンの発行に限られ、活動が停滞しています。地域の活動に関わっていただく新たな形の関係人口施策について計画しています。			
						隊員主催イベント回数	0	0	0	0		1	新たなファンコミュニティの創設と併せて関係人口の活動について検討します。			
						ふるさと納税返礼品取扱数	251	314	297	216 (587)		200	返礼品地場産基準や中間事業者の変更等もあり、返礼品数が減少しました。中間事業者と協力して新たな返礼品開発に努めます。 ※下段()内は容量・カラー違い（パッケージン商品）を含めた総数			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント			
暮らし_安心して みんなが暮らせる村	安心・安全の 生活を支える 村づくり	防災・減災 の強化	地域支え合 い支援	健康福祉 課	支え合いマップ作成地区	26	30	30	30		30	全地区で作成することができ、年1回、地区役員・民生委員・行政等の合同学習会を行い、更新・改善に努めています。 災害時に効果的に活用できるよう、情報の共有・最適化を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	「支え合いマップ」はそれなりの効果は出ているが、個人情報との絡みが厳しい。わざわざ「支え合いマップ」に落としなくても「震災対応」はできると考えている住民は相当数存在する。何でも「マップ」と考えているのは行政関係者だけであり、景観と自由を求めて移住した方々には「マップ」は評判は良くない。「これを公式に行政が、作らなければならないとして行うのはおかしい」という意見を言う人もいる。他の自治体で行われているように、公式ではないが公式のようなイメージを与える社協が行なってはどうか。 防災・減災上の観点から、居住者・事業者の連絡先等を把握し、災害時に備えて各地区への情報提供も重要と考える。 自主防災組織には区民だけが参加しているが、区未加入者や事業者の参加も必要ではないか。 冬季は季節労働の外国人が増えることから、災害時に正確な情報が確実に伝達できるか不安。 防災白馬の無線放送が聞こえにくいの苦情を多く聞く。 プッシュ式の情報発信を強化してほしい。 告知不足ではないか。 消防団ははじめ防災・減災に取組む皆さんの活動には敬意を表する。また、「砂防ありき」の言葉の重要性を実感する。多くの村民にそれらの活動が理解されるよう広報活動の強化を望む。 ペット同伴など避難所の再考をお願いしたい。 気候変動による災害の激化を前提に毛布やトイレ等の備蓄を整えてほしい。 地域の安全を早急に確保するために、土砂災害警戒区域等の災害対策や治山治水事業を積極的に国・県に要望し、予算を確保してほしい。 治山・治水事業の整備計画を公表できないか。 高齢者施設や教育機関は、安全性の高い場所に集約していく事が望ましい。（災害や交通量の少ない場所、災害時に救助しやすい場所など）			
				総務課	防災アプリダウンロード数	1,586	2,509	3,801	5,039		10,000	広報はくばや行政ホームページ、SNS等で防災アプリの周知を図り、ダウンロード数の増加に努めます。様々な分野でアプリの導入が増えてきたため、総合案内的な周知も検討します。						
			消防団活動	総務課	消防団協力事業所数	5	5	5	5		6	引き続き事業のメリットを提示しながら村内事業所へ周知を図り、新たな事業所登録につなげていきます。						
					消防団員応援ショップ登録店舗数	11	9	7			20	事業の周知を徹底し、消防団への理解、協力店舗の増加に努めます。						
			自主防災組織	総務課	自主防災組織設立地区数	26	27	27	27		30	未設立は残り3地区となりました。全地区で設立されるよう取組みを進めていきます。						
			村全体の防災への取組み	総務課	地震総合防災訓練等参加者数	0	0	149	180		300	一般住民は80名程度で、消防団、日赤奉仕団、役場職員等が参加し、煙体験・消火訓練、救護・救命訓練、災害伝言ダイヤル体験、避難所開設訓練、炊き出し訓練を実施しました。 継続して地域防災力を高められるような訓練を計画・実施します。						
					防災備蓄倉庫数	1	1	1	1		3	既存施設の利用等も検討します。R7年度に1棟増設する予定です。						
			治山治水 (国庫、県単 関係)	建設課 農政課		北内山沢 治山 堰堤改修	松川支障木 伐採他 砂防施設整備 （青鬼 他）	県要望実施、 松川支障木 伐採、砂防施設 整備	県要望実施、 松川支障木 伐採、砂防施設 整備		-	【建設課】引き続き松川平川流域での砂防施設の長寿命化事業（国直轄）が行われた他、R5年12月に発生した黒豆沢土砂災害対応のため長野県による恒久対策事業が進められました。 また、松川において長野県による支障木伐採工事が行われました。 【農政課】継続して県要望を実施しました。						
			日常の住み よさの確保	もてなしの村 づくり	総務課	村有地の環境美化活動	2	2	3	5		2				熊の出没件数も多いことから、夏季において複数回草刈りを行い、美化に努めました。村民草刈りウィークに合わせて、村有地や公共施設の草刈り等を行い、環境美化に努めています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.3
		地区の環境美化活動				60	60	60	60		60	地域づくり事業補助金の活用や集落支援員等による作業の支援を行っています。						
		地域防犯力の 向上		総務課	防犯パトロール回数	23	24	4	20		36	大規模野外イベントの際の青色回転灯装備車による防犯パトロールの実施、熊出没・目撃時の児童の見守り等を実施しました。引き続き関係機関と連携しパトロールを実施します。						
		交通安全の 推進		総務課	児童生徒の登校時における 街頭指導回数	14	14	14	16		18	年3回の交通安全運動期間において、これまでは運動初日は人波作戦を行うため街頭指導は行いませんでしたが、運動開始前に人波作戦を行うことにより、運動期間中は毎日街頭指導を行いました。						
					交通安全啓発に係る 防災無線の放送回数	90	90	90	90		24→90	交通安全運動実施月において期間中1日3回防災無線において広報を行いました。このほか、高齢者向けの交通事故防止のポイントに関するコマーシャルを作成し、ケーブルテレビで放映しました。今後も交通安全運動期間前に放映する予定です。						
		村内の移動 手段の確保		総務課	運転免許自主返納支援事業 利用者数（累計）	121	136	154	177		250	増加傾向にありますが、目標数値の達成は厳しい状況です。 今一度広報・周知を図り、利用者増加につなげていきます。						
				観光課	ナイトシャトルバス利用実績	0	12,000	11,005	10,075		15,000	R4年度の実証運行時には無料運行、R5年度からは有料（1乗車500円）で運行しました。配車不成立が多い時間帯への対策を講じるなど、利便性の向上を目指します。						
				総務課 健康福祉 課 観光課 教育課	〈既存公共交通網のネットワーク向上〉神城駅、白馬駅の乗車人数の実績		231	271	※		現状維持	※R6の数字は現時点で未公表のため記入不可 （神城駅の乗車人数の取得は不可）						
					〈通年型観光を支援する公共交通の検討〉白馬サイクルフェスタの参加者数	0	200	267	－		現状以上	R6開催実績なし（R7.5月に実施済） 実施団体、DMOの取組を支援します。						
					〈誰もが分かりやすい案内情報の提供〉解決すべき課題の中の「案内表記」				※		現状軽減	R6取組事項なし 引続き状況把握と改善に努めます。						
					〈村民との協働機会の創出〉地域公共交通会議の開催	1回	0回	3回	2回		1回以上	R6は本体会議2回、公共交通計画更新策定のための検討委員会を3回開催しました。						
		生活と観光 と医療のため の道路整備		建設課	インフラ長寿命化点検済施設数	橋梁点検 18橋 修繕工事 5橋	橋梁点検数 88橋 修繕工事数3 橋	第3期橋梁長 寿命化計画 策定	橋梁点検 24橋 修繕工事 2橋		107	R5年度に策定した第3期橋梁長寿命化計画画に基づいて、R6年度は点検24橋、修繕工事2箇所を実施しました。今後4年間に全107橋の点検と危険度の応じたメンテナンス工事を行います。						
						安全な住宅 の提供	建設課 総務課	村営住宅戸数	24	24	24	24		24	【建設課】全24戸の村営住宅について引き続き適正管理に努めています。 （施設の増減はなし）			
		木造耐震診断・耐震改修補助件数		0	0			0	1		1	耐震診断について相談はあるものの、制度の性格に適しているものではなく、診断対象ではない建物のためR6年度耐震改修は実施していません。						
		まちづくりマスタープランによる土地利用計画		建設課	都市計画マスタープランの見直し		都市計画マスタープランの見直し（策定）	-	-		計画見直し	計画見直しはR4年度に完了しています。						
		地籍調査の推進		農政課	地籍調査済面積（ha）	8.47	6	0	0		8.6	北城25区（大出）11haの測量を予定していましたが、R6.1月発生の能登半島地震の影響に基準点が7cm北西に移動したため事業が翌年度繰越になりました。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント
暮らし__安心して みんなが暮らせる村	支え合う福祉 と健康の村づく り	子育て支援	安全な妊 娠・出産への 支援	子育て支 援課	合計特殊出生率	1.15	1.33	1.71	0.89		1.15	これまで最低であったH29年度の1.04を下回る数値となりました。（単年 度の値は白馬村独自のもので、国の公式発表は5年平均値で、直近H30 ～R4は、白馬村1.39です。）	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	子育て世代の夫婦が共に働ける環境づくりは重要。 子育て世代に選ばれるような環境整備、子育て支援の充実に努めてほしい。 「子どもにやさしい村」という実績をつくり、移住者増につなげてほしい。 かなり充実してきているが、小規模自営業者と共稼ぎ世帯が多い地域であるためさらに充実していくこ とが望ましい。 絶対的なハード不足。人口1万人規模の自治体には「母子保健センター」が普通にある時代になっ ているため検討してほしい。 シニア世代が孫を遊ばせられる公園を村内各地に整備してほしい。 子育て支援のマンパワー不足解消の施策が重要。
					妊婦基本健診受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100%		100%	全員の受診が図られています。			
					不妊治療費助成件数	7	6	10	6		4	不妊治療は、心身、経済面ともに負担が大きいため、今後も相談体制の 充実を図ります。			
					年間出生数（累計） ＜上段：単年、下段：累計＞	40 (40)	38 (78)	52 (130)	31 (161)		220 (44×5年間)	R5年度は一時的に増加しましたが、出生児数は減少傾向です。外国人 の割合が増加しています。			
					新生児訪問実施割合	88.9%	97.4	92.9%	93.6		90%	伴走型相談支援の一環として、長期の里帰り等を除いて全戸訪問を実施 しています。			
					小児科オンライン登録者数	245	258	269	276		200	第1子を中心に新規登録者は増加しています。登録者数が横ばいなのは、 転出等での退会のためと考えられます。			
					産婦人科オンライン登録者数	13	16	29	-		20	R6年度から集計数値は小児科オンラインと統合し、上記延べ数として集計 しています。			
			安心して産 み育てること ができる医療 体制の維持・充実	健康福祉 課 子育て支 援課	平日夜間救急医療事業箇所数	0	0	0	0		維持	【健康福祉課】新型コロナウイルス感染症対応により、R2.4月より休診とな り、R4.3月で廃院となりました。現在はあづみ病院と市立大町総合病院の 救急外来で対応しています。			
					大北圏域産科医数	1→0	0	0	0		1	「松本・大北地域出産子育て安心ネットワーク」に加入しています。市立大 町総合病院の分娩の再開については、継続して広域的に働きかけていま す。			
			子育てに関 する交流や 相談の場づく り	子育て支 援課	"なかよし広場"利用者数	116	656	652	1,241		1,300	出生数が減少する一方で産後早期からの就労を希望される方が増加する 事で未満児保育利用児数が増加しています。出生数に伴って利用者数は 減少傾向である中、なかよし広場と自由利用の活動を 1 つにすることで家 庭で子育てしている利用者の延べ数は、若干の増加傾向にあります。気軽 に安心して子育て等の不安や悩みを相談できる場として寄り添った支援が できるよう努めます。			
						794	1,240	1041	-		1,200	R6年度から集計数値はなかよし広場と統合し、上記延べ数として集計して います。			
						318	287	240	275		700	単発の相談もありますが、見守りをしながら継続的に相談をしているケースも あります。必要に応じて外部の専門機関に繋いでいます。利用者数のうち 約80人はオンライン相談利用者です。様々な相談内容に対応できるよう 引き続き関係機関と連携していきます。			
						子育て支援アプリ「おひさまメモリー ズby母子モ」登録者数	246	267	300	322	250	妊娠届や 2 ヶ月育児相談の際に案内し、多くの方が登録しています。			
			子育て家庭 への経済的 支援	健康福祉 課→ 子育て支 援課 子育て支 援課	小児インフルエンザワクチン助成	613	528	488	418		1,000	コロナ禍後、ワクチン接種自体に懐疑的な声も聞かれ、ワクチンを受けない という選択をする家庭が増えており、徐々にその傾向が高まっています。			
					子育て家庭優待パスポート協賛店 舗数	31	32	34	32		33	村内小売店舗等の減少に伴って協賛店舗数は横ばいからやや減少傾向 にあります。広報等による積極的な周知活動による協力店舗の更なる拡 大に努めます。			
			子育てと仕 事の両立支 援	子育て支 援課	休日保育利用者数	189	325	399	279		400	出生数が減少傾向であるため、利用者数は例年より減少していますが、観 光業などサービス業主体の村の特殊性から、休日・祝日保育の需要は増え 続けています。通常勤務の保育士が交代で業務していますが、引き続き保 育士確保に努め事業を継続します。			
					放課後児童クラブ利用者数	427	551	583	642		470	夏休み期間の申請が規定の60人を超えました。利用実数としては38人に とどまりましたが、指導員の人数に対し多くの申請者があり、更なる増加ga 懸念されます。良いサービスの持続が難しくなっています。			
			障がい児支 援	健康福祉 課	児童通所サービス利用者数	50	51	57	49		40	必要なお子さんが、円滑にサービスを利用できるように、計画担当事業所、 サービス提供事業所と連携して実施しています。卒業、転出で利用児数は 若干減少しました。			
		障がい者支 援	地域における 自立生活の 支援	健康福祉 課	障害福祉サービス利用者数	47	46	46	50		55	必要な方が、円滑にサービスを利用できるように、計画担当事業所、サービ ス提供事業所と連携して実施しています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	障がい者への自立支援が重要課題であり、良い取り組みが進んでいると感じる。 更なる手厚い支援を期待する。 概ね良好であると思う。 支援する人材の確保が課題。
					共同生活支援支給決定者数	17	18	21	21		17	必要な方が、円滑にサービスを利用できるように、計画担当事業所、サービ ス提供事業所と連携して実施しています。目標を超えた人数が利用してい ます。			
					地域移行支援利用者数	1	0	0	0		1	R6年度は申請がありませんでした。			
					日常生活支援用具給付件数	168	146	176	175		180	必要な方が必要な用具などを円滑に利用できるように、サービス事業者と 連携して実施しています。ストマが主なものです。			
					日中一時支援事業利用件数	188	278	466	540		300	必要な方が必要なサービスをに利用できるように、本人、保護者、サービ ス事業者と連携して実施しています。目標を超えた件数が利用されています。			
			社会参加の 促進と就労 支援	健康福祉 課	法定雇用率達成企業数	3	3	2	3		2	障がい者就労に関する理解促進に努め、達成企業数増加を目指します。			
					障害者優先調達推進法調達額	660,175	736,272	1,018,544	1,532,656		500,000	公共施設清掃などの業務委託が増加し、大幅に増加しました。			
			人にやさしい まちづくりの 推進	健康福祉 課 建設課 総務課	居宅生活動作補助用具支給件 数	0	0	0	0		1	R6年度は申請がありませんでした。			
					地域福祉総合助成事業住宅改 修件数	3	2	0	3		3	ご自宅で安心して生活できるよう、今後も事業を実施します。			
					通訳者派遣利用回数	12	10	11	11		17	行政説明会、公民館講座、学習会など要望に沿って幅広く派遣しました。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント				
暮らし__安心して みんなが暮らせる村	支え合う福祉 と健康の村づくり	高齢者福祉	地域包括ケア システムの構築	健康福祉課	介護予防取組みグループ数	17	16	15	12		25	地区公民館を中心に展開してきた体操教室は、参加者の高齢化、講師派遣事業所のスタッフ不足等により、グループ数、参加者数ともに減少傾向にあります。地域のニーズを踏まえ、別の形を含めて検討していきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	高齢化が進む中で健康増進に取り組んでいる現状は良いと思う。できるだけ寝たきり状態にさせない介護予防に注力してほしい。 介護予防の様々な事業を実施してほしい。参加者数を単に伸ばすのではなく、引きこもり高齢世帯を無くすことに力を入れてはどうか。 高齢化が進む中で、村として対策を考え実行してほしい。 デマンドタクシーは地域課題解決に向けた施策の実行に期待する。 ふれAI号になって高齢者や障がい者の利用状況や満足度について検証してほしい。 マンパワー不足と財政難克服のためのアイデアが必要であり、観光では有名だが弱小自治体である白馬ではボランティアで不足するマンパワーを補うという発想はありえない。根本的な施策を構築する必要がある。 母子保健センター、健康福祉センター、高齢者センター的な箱物ではあるが希望する人は少ない。				
					介護予防事業参加者数	6,031	4,233	3,432	3,894		7,000	地区公民館を中心に展開してきた体操教室は、参加者の高齢化、講師派遣事業所のスタッフ不足等により、グループ数、参加者数ともに減少傾向にあります。地域のニーズを踏まえ、別の形を含めて検討していきます。							
					地域ケア会議開催回数	5	6	5	5		6	介護保険事業所、医療機関、歯科医院、薬局、行政等関係者により定期的に開催しています。							
			生活支援 サービスの体制整備	健康福祉課	配食サービス食数	3,555	2,804	2,387	1,834		3,000	高齢者の外出が増えたほか、当サービスより安価で配達を行う民間事業者の営業努力により減少しています。高齢者のみならず、障がい者の利用や、所得要件の見直しを検討します。							
					乗合タクシー利用者数	6,662	7,447	7255	17,504		9,000	R6年度より公共交通施策として始まり、観光客等も利用することとなり、利用者数は大幅に増加しました。							
			高齢者の生きがいつくり	健康福祉課	白馬シニアクラブ会員数	1,280	1,280	1,291	1,281		1,300	健康増進事業（マレットゴルフ、スマイルボウリング、男性の料理教室など）や環境美化活動が実施され、高齢者の生きがいつくりに大いに貢献しています。							
					シルバー人材センター登録者数	560	571	549	522		700	目標値は北アルプス管内の会員数です。白馬村の会員数も減少傾向であり、会員募集に努めます。							
			認知症対策・権利擁護の推進	健康福祉課	認知症サポーター数	1,359	1,539	1,774	1,983		1,500	小中学生からシニアクラブまで幅広い世代に11回の養成講座を開催し、211名の方に受講いただきました。さらにステップアップ講座等を開催し、サポーター養成講座のスタッフとしてご協力いただいています。							
			健康づくりと 地域医療の充実	生活習慣病 予防の推進	健康福祉課 住民課	特定健診受診率	52.8% (速報値)	52.7% (速報値)	51.1% (速報値)	53.7% (速報値)		60.0%				R6年度の速報値は53.7%です。徐々にコロナ禍前の状態(参考：R1受診率54%)に戻りつつあります。引き続き、様々な媒体を通じた受診勧奨を行い受診率60%を目指します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	村民の健康に対する意識は高まりつつあると感じるが、介護士や看護師の人材不足を不安に感じる。 歯科医院の減少が気になる。 白馬診療所の改修・拡充など村内医療機関の充実に期待する。 地域医療全体の充実に努めてほしい。 今後さらなる高齢化社会の訪れに対して、高齢者の活躍する場所や機会を創ってほしい。 保健行政と地域の診療所と総合病院との連携を期待する。 冬季の診療不足解消に引き続き腐心する。 外国人対応ができる人材の確保。
						特定保健補導指導率	67.7% (速報値)	59% (速報値)	53.9% (速報値)	58.0% (速報値)		75.0%				R6年度の速報値は58.0%です。継続的かつ効果的な保健指導が行えるよう、専門職の力量形成に努め目標達成を目指します。(参考：確定値 R3:67.7%、R4:63.1%、R5:61.8%)			
		食育の推進		健康福祉課 教育課 農政課	食育ボランティア登録者数	29名	25	21	23		30	R6年度新規登録者はいませんでした。高齢化や家庭事情、仕事の都合等で退会を希望させる方も増えており、今後の減少が危惧されます。引き続き広報や白馬村行政公式ホームページ等での新規会員登録の呼びかけに努めます。							
					平日夜間救急医療事業実施日数	0	0	0	0		維持	新型コロナウイルス感染症対応により、R2.4月より休診となり、受診者の減少によりR4.3月で廃院となりました。現在はあづみ病院と市立大町総合病院の救急外来、救急安心センター事業（＃7119）の周知等に対応しています。							
		地域医療体制の確保		健康福祉課	平日夜間救急医療事業患者数	0	0	0	0		維持	北部・中部・北部の3ブロックに在宅当番医を置き、救急緊急の医療応需体制の確保と充実を図り、医療業務を実施しました。							
					在宅当番医制度事業実施日数	延べ214日	213	217	7月 公表予定		維持	H18年度より在宅当番医を置き、緊急の医療体制の確保と充実を図り医療業務を実施しました。							
					在宅歯科当番医事業実施日数	延べ72日	72	73	7月 公表予定		維持	R6年度も他に類を見ない本村のスキー傷害診療体制を索道事業者協議会、受託医療機関の理解のもと維持することができました。白馬インターナショナルクリニック(HIC)の土日祝日も含めた通常診療での受入、休休日当番医も含め、増加するインバウンドお客様のスキー外傷にも対応しています。							
					スキー傷害診療実施日数	38日	37	38	40		維持	R6公表分（2年に一度の県調査）看護師等の数は、村内医療機関の数に対し減少傾向で看護師等の不足は恒常化しています。村内入院施設の休止にも影響しており、住居不足が主な要因のひとつです。							
			スキー傷害診療患者数		625名	941	789	781		維持	R6公表分（2年に一度の県調査）看護師等の数は、村内医療機関の数に対し減少傾向で看護師等の不足は恒常化しています。村内入院施設の休止にも影響しており、住居不足が主な要因のひとつです。								
			医療従事者数(看護師・准看護師)		57	57	60	54		70	R6公表分（2年に一度の県調査）看護師等の数は、村内医療機関の数に対し減少傾向で看護師等の不足は恒常化しています。村内入院施設の休止にも影響しており、住居不足が主な要因のひとつです。								
		介護人材育成講座受検者数(累計)	42	3	49	49		50	R6年度は新規受講者4名、昨年度の追加受講 2 名の計 6 名に受講いただきました。1 名は介護保険事業所での就労につながりました。										
		自立的・効率的で健全な行政の村づくり	情報通信 技術の活用	個人番号カードの普及及び活用による住民サービス向上	住民課	個人番号カード交付率	42%	67%	66%	77%		30%	交付率の目標数値は達成していますが、引き続き周知を行い、普及率向上に努めます。 ※交付率は、成果説明書に合わせ、総務省公表の保有枚数率を採用（交付枚数から死亡や有効期限切れ等により廃止されたカードの枚数を除いた保有枚数をもとに算出）	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	DXが進むのは良いが、すべての村民が対応できるか疑問。システム導入時には丁寧な説明を望む。 個人番号カードの交付による業務の効率化は実際に進んでいるのか。 積極的にRPAやDXを進めてもらいたいのが、それ以前に必要なのが職員のリーガルマインドと課題発見・課題解決能力、住民の視点と住民に備わっていない視点を把握する力だと思われる。			
							システム・基盤等の共同調達やRPA導入による業務効率化	総務課	システム・基盤等の共同調達	3件	5件	6件	6件					4件	新規の共同調達はありますが、R6年度に国庫補助（デジ田交付金）を活用して4件のシステムを導入しました。（白馬村公式LINE・書かせない窓口・電子契約システム・電子交付サービス含む文書管理システム）また、ふるさと基金を活用してペーパーレス会議システム導入と庁内情報系ネットワーク無線化を実施し、庁内のペーパーレス化に努めました。
		業務へのRPA	1件	1件	0件	0件				2件	DX推進チームにおいて検討したものの、住民向けサービスを優先する方針に従い導入には至っていません。 AI活用等も含めて引き続き検討します。								

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント
暮らし_安心して みんなが暮らせる村	自立的・効率 的で健全な行 財政の村づくり	行財政改 革の推進	魅力ある人 材の確保と 計画的・効 率的な職員 研修	総務課	職員研修受講数	42	76	271	143		130	オンライン研修の普及から気軽に受講できるようになり、目標数値以上の受講者数を維持しています。役場主催の研修も行い、引き続き対面・オンラインの良いところを生かしながら職員のスキルアップにつなげます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	優秀な人材こそが村の財産であるため、人材育成には注力していただきたい。 財政についてはオーバーツーリズムの対策にも関連して新たな財源獲得を検討するべき。 職員研修の徹底による職員のレベルアップに期待する。 接遇研修を継続的に実施するとともに、秘書検定等の民間資格の取得制度を検討してはどうか。座学では限界があるため、都市銀行などの接遇や秘書的業務に定評のある職場へ研修派遣する組織内制度が必要と思われる。 人件費と人件費に相当する物件費を見直すために、組織全体の仕事の量的・質的な見直しを行うことが健全財政に繋がる。
					インターンシップ受入人数	0	0	1	1		10	インターンシップ生は役場の採用試験を受験し、翌年度の採用につなげることができました。ですが、コロナ前に比べるとまだ減少しているため、周知方法などを検討していきます。			
			財政健全化	総務課	実質公債費比率	13.1%	14.3%	15.6%			15.0%未満	7月末に数値が確定します。			
					将来負担比率	40.0%	21.7%	4.7%			85.0%未満	7月末に数値が確定します。			
				税務課	村税現年課税徴収率	98.3% 98.5%	98.6%	98.6%	99.2%		98.5%	インバウンド需要の高まりや円安を背景に、海外からの関心が高まり地価の上昇を加速させています。この動きが不動産売買を一層活発化させ、不動産の売買対価により長年の懸案事項であった滞納事案の解消に繋がり、結果として現年課税徴収率の向上にも寄与しました。			
産業_新しい仕事 をつくりだす村	「世界水準」を 意識した観光 の村づくり	競争力と持 続可能性を 高める観光 地経営	白馬連峰へ の眺望の魅 力最大化	観光課 総務課	眺望スポットの抽出	8	8	8	8		10箇所	R3年度に選定済です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	観光産業についてはコロナ前（あるいはコロナ前以上）の水準に戻り、村内企業の業績も上向きに転じていると聞いている。行政としては新しい産業の創生や支援にシフトしても良いのではないかと考えている。外国人観光客の増加に伴い、ハード・ソフト両面での受入環境整備が追いついていない。様々な対策が必要。 観光地継続マネジメント（DCM）に併せて企業のBCPの策定を促す取り組みも必要ではないかと考えている。世界水準の観光地としての取り組みはできていない。グリーンシーズンのプロモーション、受入環境の整備を進めてほしい。 滞在型観光の推進と言われて50年が経過しているが、ほとんどが空間的にも時間的にも一過性の域を出ない観光になっている。景観の魅力は属人的要素が強く、そこからの脱却を図る振興策を立ててほしい。
				建設課	景観計画の策定対象面積	18,936ha	18,936ha	18,936ha	18,936ha		7,324ha	景観計画の策定作業は既に完了したため、R6年度は計画に沿った適正運用が図られるよう、景観パトロールを強化しました。（白馬村建築業組合との連携）			
			核となるス キー場と宿 泊拠点の再 生	観光課	ウィンターシーズン(12-3月) 観光客数（万人）	75	84	128	146		150	コロナ禍を経て、インバウンドの増加が顕著でした。時間と場所によって一時的な混雑が発生しており改善をしていく必要があります。今後は季節変動に影響を受けない観光客の入込の平準化を目指す施策実施の必要があります。			
			国際リゾート に相応しい 受入環境整 備	観光課 総務課	危機管理マニュアルの構築	○	○	○	○		白馬村観光 地継続マネジ メント （DCM）の 策定	R2.3月に白馬村観光防災マニュアルを策定済です。			
			魅力の多様 化に向けたコ ンテンツ創出	観光課	グリーンシーズン(4-11月) 観光客数（万人）	82	119	130	135		130	コロナ禍を経て、インバウンドの増加が顕著でした。時間と場所によって一時的な混雑が発生しており改善をしていく必要があります。今後は季節変動に影響を受けない観光客の入込の平準化を目指す施策実施の必要があります。			
			観光業の活 性化・平準 化による安 定的な雇用 創出	観光課	地域未来牽引事業者の新規雇用 者数の累計	30	36	36	36		75	地域未来牽引事業者の新規雇用は現状維持の状況となっています。			
			地域特性を 活かしたス ポーツツー リズムの推 進	生涯学習 スポーツ課	白馬ジャンプ競技場リフト乗車人数	33,528	45,985	43,619	41,418		83,000	対前年比は若干の減少となっています。リフト乗車による来場者のみでなく、イベントの誘致・企画等の視点からインバウンドを含めた顧客の獲得を目指します。			
					スノーハーブクロスカントリー大会出場者数	0	1,600	1,700	1,463		2,300	6年度は他の陸上大会と日程が重複したことで減少となりました。全国的な事象ですがマラソンブームが終わり、コロナ禍を経て減少傾向にあります。特色ある本大会の特徴をアピールしながら、出場者の獲得に努めます。			
					スノーハーブマウンテンバイク大会参加者数	0	250	280	217		250	対前年比は若干の減少となっています。小学生から高校生が全国各地から参加する、高レベルな大会を開催しています。長野県内からは46名、白馬村内からは23名の参加となりました。			
			観光施設の 維持管理	観光課	老朽化施設等の修繕工事				1箇所		2 箇所	以前より課題となっていた猿倉荘の風呂場修繕工事の実施を行いました。HAKUBA VALLEY WiFiをエコーランド、八方文化会館、ウイング21、白馬駅前、白馬村役場に整備していますが、機器更新時期を超過しており現状維持が困難な状況です。			
			広域観光の 取り組み	観光課	エリア観光客延べ宿泊者数	174.5	2,510	3,158	3,333		3,066千人	白馬バレーエリアにおいても冬のインバウンド観光客の増加が顕著となっています。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント	
産業_新しい仕事 をつくりだす村	農地と森を守 り地産を活か す村づくり	優良農地の 保全	里山環境の 保全	農政課	耕作放棄地面積(ha) A分類（再生可能） B分類（再生困難）	A分類 (再生可能) 約12.9ha B分類 (再生困難) 約21.0ha	A分類 (再生可能) 約15.2ha B分類 (再生困難) 約18.0ha	A分類 (再生可能) 約12.5ha B分類 (再生困難) 約20.1ha	A分類 (再生可能) 約12.2ha B分類 (再生困難) 約20.5ha		8.2ha→ A分類 (再生可能) 8.2ha B分類 (再生困難) 18.0ha	ハード面では北城南部ほ場整備により、優良農地確保に取り組み、ソフト面では農業振興地域整備計画の総合見直しに着手し、併せて再生困難な農地の非農地判断を進めることとしました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	耕作放棄地や投資目的の農地転売には疑問を感じる。住宅供給（定住支援）と連携した新たな就農支援を望む。 農業の担い手、後継者育成にも力を入れてほしい。 農地保全が観光に繋がると言う割には観光関係からのバックが少ないように思われる。助成金で農業が成り立っていることは確かであるが、税等が助成金の財源であり観光関係からの支援は少ない。 充電式電動草刈機等購入補助金制度は継続してほしい。補助金交付台帳の整備が必要。 農地使用料は当事者間で決定することと表記されているが、そのことを行政では農業者に強く指導する方がいいと思う。 行政は農業者に特別な感情を持つ必要はない。 圃場整備の推進に期待する。 サルの出没が増加し、人里で目にする機会が増えた。生息状況の調査と捕獲計画を進めてほしい。 クマ等の鳥獣対策のためにも里山整備が必要。	
					多面的機能支払交付金取組面積（農地維持）(ha)	427.39	456.25	456.25	465.69		436	地域の努力により面積は微増しました。				
			農業施設の維持管理	農政課	多面的機能支払交付金対象面積（長寿命化）(ha)	400.52	436.59	429.38	438.83	409	地域の努力により面積は微増しました。					
			ほ場整備の 推進	農政課	北城南部地区ほ場整備面積(ha)	40.8	40.8	40.8	40.80		40.8	事業主体は長野県で、村は地元との調整役です。3工区の工事中です。				
					新規地区（新田地区→北城北部地区）ほ場整備面積(ha)	52.1	49.9	49.9	32.4		52 35	R7申請、R8採択に向け、地元実行委員会と連携し、事業を進めます。				
			認定農業者 への支援	農政課	村単農業機械等購入補助件数（累計）	44	52	農業機械61 充電式草刈機等22	農業機械69 充電式草刈機等43		30 120	農業継続のためには農業機械更新は必須です。多くの農業者に利用していただいています。				
					認定農業者（担い手）への農地利用集積面積(ha)	432	437	442	447		490 450	認定農業者への農地利用集積率は約79.2%です。大規模3法人への集積も限界を迎え、他の担い手への集積が課題です。現状を鑑みR7目標数値を下方修正します。				
					認定農業者数	40	40	45	46		35 47	R17の基幹的農業従事者人口は激減するとの予測がありますが、認定農業者は増加を目指しています。R7目標を上方修正します。				
			就農体験の機会づくり	農政課	ふれあい農場及び市民農園面積(㎡)	3,831	3,146	3,164	3,164		1,900 → 4,950	一般の方が農業に親しめるよう農園確保に努めます。 R7目標数値を上方修正します。				
			有害鳥獣対策	農政課	農産物被害額(万円)	57	50	50	52		50	クマやサルの目撃が増加傾向です。サルは人馴れしてきています。緩衝帯整備と有害鳥獣実施隊による駆除に努めます。				
					電気柵資材購入補助件数(個人向け)	11	12	12	10		10 15	R7に向け電気柵補助金予算を拡充しました。				
		農産物のブ ランド化と特 産品の生 産・販売の 推進		米の品質向 上・ブランド 化	農政課	白馬産ブランド米生産農家数→信州の環境にやさしい農産物認証制度取得農家数	17	17	環境認証 15 有機JAS 2	環境認証 15 有機JAS 2		10 17	国の「みどりの食料システム戦略」に基づき、有機JAS、オーガニックビレッジの研究やR7に向け有機的市民農園の設置を目指します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	白馬のお米は全国的にも有名になってきているため、徹底的に注力してほしい。 農産物には季節（旬）があるため、地元産の農産物を使った加工食品などへの転用を推進できないか。加工工場の誘致、支援も事業化を検討してほしい。 収穫時以外の時期にも白馬ブランドを加工品でもいいので開発してほしい。 ミニトマト以外に特産品（農作物）はないものか。
						紫米消費量(t)	7	8.3	7	8		8	紫米の販売は8月に品切れになる程、好調です。			
				特産品の生 産・販売強 化	農政課	特産品栽培面積(ha) （紫米、ブルーベリー、食用ほおづき、陸わさび、ミニトマト、加工トマト等）	8.2	12.1	12.8	12.7		10	紫米1.2ha、ブルーベリー2ha、食用ほおづき60a、その他園芸品8.9ha。新たに2件の農家によりヘーゼルナッツが収穫されました			
						道の駅販売品収入額→村内直売所数	7	8	8	8		300 7	民間主体の指標です。目標は現状維持です。			
				地産地消の推進	農政課	地場産品売上高(万円)→道の駅白馬ろまん市農産物直売所売上(万円)	2,200	3,900	3,795	3,442		2,600	コロナ明け以降の売り上げは好調です。			
				ふるさと納税を活用した特産品のPR	総務課	ふるさと納税返礼品取扱事業者数	58	75	66	67		50	総務省への申請・疑義照会等が煩雑になっていますが、引き続き中間事業者（白馬村観光局）と協力して新規開拓と早期掲載に努めます。			
				農地と森を守 り地産を活か す村づくり	森林の整備 と活用	森林整備地域活動支援	農政課	森林整備面積(ha) （公共造林事業）	33	30	37	38	60			
		公共施設への木質バイオマス暖房設備導入施設数	1					2	2	2	1か所 2か所	役場村民ホール、農業体験実習館に導入済です。他課の公共施設の暖房器具更新の際は調整を図ります。				
		間伐材の有効利用														
		森林資源と ふれあう機 会の創出	農政課 観光課			木流川観察会開催数	1	1	3	4	年4回	【農政課】民間団体と連携し、開催しました。				
						みどりの少年団交流会開催数	0	0	2	2	年4回	【農政課】白馬南小学校、北小学校が参加しました。				
						森林の里親促進事業交流会開催数	0		—		2					
		商工業の振興 により雇用を生 みだす村づくり	商工振興・ 創業支援	商工振興	観光課	小規模事業者経営改善資金助成金額(万円)	19	9	27	56	170	小規模事業者支援のために、設備投資等に対する利子補給を継続します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	2.9	白馬村で多くの創業者が出ることを見望。 観光関連だけでなく、新たな事業が生まれるよう支援を継続してほしい。 後継者不足が顕在化している中で、事業承継支援や創業支援を関係機関と連携して進めてほしい。 効果が見えない。 商工会の創業塾への支援事業は累計事業費が1億円となるのを機会に見直してはどうか。	
						創業支援と 空き店舗活 用支援、後 継者支援	創業支援者数	6	7	8	9	増加累計20者				創業支援事業計画に基づき、白馬商工会と創業塾を開催、創業塾修了者のうち9名が起業しました。
				店舗後継者数	0		0	0	0	増加累計5人	起業・創業における新規雇用、事業承継及び空き店舗活用の創業計画支援を継続します。					
				新しいしごと の創出	総務課	村内コワーキングスペース施設数	2	2	3	4	10	民間施設も含めて地域全体での情報発信について検討します。				
						ふるさと起業家支援事業を活用した起業家数(累計)	1	1	1	1	5	制度を活用いただけるよう、周知に努めます。				
民間活力を活かす村づくり	産官学金 労言連携	大学・企業等との連携	総務課・ 観光課・ 健康福祉課・ 農政課・ 教育課	連携協定に基づき進行中の事業	6	6	7	8	5	連携事業は増えていますが、周知が不足しているため、事業の進捗状況等について定期的に情報を発信するよう努めます。 東京農業大学／信州大学／Boldly株式会社／KDDI株式会社／株式会社スノーピーク／損害保険ジャパン株式会社／明治安田生命保険相互会社／リネットジャパン株式会社／名古屋大学未来社会創造機構	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	2.3	ビジネス関連が多くなると思うが、スポーツ・文化・芸術等について大学の研究室との連携などができないか。 健康福祉課以外の課の連携事業の内容がわからない。 効果が見えない。 どの部門でも協定の内容が可視化されていないし、紹介も説明もされていない。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント
ひと一人ひとりが 成長し活躍できる 村	学びあい育て あう村づくり	次代を担う 子どもたちの 学習支援	「自ら学び、 自ら考える 力」と「生きる 力」の育成	教育課	中学校情報端末活用生徒数 （延べ）	206	285	229	235		1,100	新型コロナウイルス感染症の流行により1人1台の情報端末を前倒して整備しました。当初の設定目標は、中学生になり情報系端末を活用する延べ人数としていましたが、実情にそぐわない状況になっているため、次期総合計画では目標設定を見直します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.0	少子化の影響も否めないが、効率化により教育レベルの引き上げを望む。 少子化だからこそきめ細やかな指導をしてほしい。 学校の統廃合や小中一貫校なども教育レベルの引き上げが目的ならば村民の理解も得られやすいのではないか。村や県との管轄違いがあり難しいと思うが、効率化の推進のためにも小中高一貫校も視野に入れるような大胆なアイデアを望む。 アフターコロナに向けた次のステップの施策を求める。 学力偏重主義は良くないことは承知しているが、義務教育の学力不足が心配である。児童生徒の生活環境に観光地特有の俗的な面があるので教育環境を充実することが人材育成としては重要。 導入端末の更新状況はどうなっているのか心配。 PC・ITC関連の活用能力と学力とは相関関係はないと思われるが、義務教育までは学力や想像力、創造力の醸成を養う環境であることが望ましい。 小さな自治体で人口も少ないが学習ボランティアの充実は素晴らしい。 給食の地場産品の使用量増加を望む。 白馬高校の全国募集は地域校維持のために必要であるが、地元の生徒を増やす取り組みが必要。 スキーを続ける生徒も地域外に流出している。
					小学校情報端末活用児童数 （延べ）	396	461	514	569		690	小中学校の1人1台端末を実現し、定期的な更新を行いながら順次ネットワーク環境も整え、低学年でも使えるソフトも導入して、児童生徒の端末活用率は上昇しています。			
			地域に開か れた学校づく り	教育課	学習ボランティア登録数	24	24	19	69		3 校 計 100名	小学校のボランティア登録を開始したため、前年度より増加しています。R7年度は認知されてきており、さらに増加する見込みです。			
			安心・安全 な学習環境 づくり	教育課	子どもを守る安心の家登録数	92	92	91	85		95箇所	転出等もあり減少が新規登録を上回り登録数は減っていますが、引き続き協力を依頼していきます。			
					地場産食材の使用率 野菜・果物・きのこ類	52% 11%	39% 13%	30% 10%	28% 8%		長野県産比 率 60% （うち、白馬産 比率13%）	主食や味噌は保存できるため100%白馬村産となっていますが、野菜等について通年生産が難しいため、年間を通じて使用するキャベツやキュウリなどは県外産となってしまうので、地場産率の向上が難しい状況です。使用率は重量で算定するため、重い農産物の使用量が減ると使用率は大きく減少します。実際に米などは地場産なので使用率の考え方を検討します。			
			地域を担う 人材の育成	総務課 （白馬高 支援）	しろうま学舎塾生数	31	26	27	33		60	生徒が気軽に立ち寄れる第三の居場所として、生徒の主体性を重視した運営を行っています。近年、大学進学、資格取得を目指す生徒が増加傾向にあるため、講師の増員を視野に入れながら、生徒の希望する新路に幅広く対応できるよう努めます。			
					他県からの入学者数	8	5	10	25		20	（一財）地域・教育魅力化プラットフォームが取り組む「地域みらい留学」に参画し、全国の中学生に向けてオンラインも活用しながら20回/年を超える学校説明会を開催しています。積極的に在校生に登壇してもらうことで、リアルな声と和気あいあいとした雰囲気をお届けできるよう努めています。			
				総務課	ふるさと人材奨学金返還補助対象者数（累計）	4	4	5	7		8	白馬高校生を中心に周知を行っています。卒業生への周知も検討し、活用を図っていきます。			
		自己実現を 目指す生涯 学習と青少 年育成	限りない向 上心を支え る生涯学習	生涯学習 スポーツ課	講座開催回数（のべ）	61	78	71	74		60	継続講座12、新規講座7を開催しました。新規に開講した中国語教室では、就労後に参加可能な夜に開催しました。また、4講座は文化祭での展示とステージ発表に繋がり、教室の成果を披露できました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	新たな図書館の早期着工に期待する。 図書館の建設を進めてほしい。 新しい図書館について、方針を住民に説明してほしい。 村内の芸術（美術工芸）作品の展示を随時行ってほしい。 青少年の育成に注力していただきたい。図書館事業も青少年育成に絡めて検討してほしい。 生涯学習と文化芸術振興はとてよく行われている。
					講座受講者数（のべ）	651	732	767	843		1,200				
			図書館の充 実	生涯学習 スポーツ課	図書館来場者数（延べ）	8,741	9,398	10,780	10,602		30,000	子育て支援施設を先行して建設する方針が決定したため、4月に住民説明会を行いました。学校での読み聞かせやあそびまなびフェスでの活動など子ども向けの活動にも注力しました。			
			人権教育の 推進	生涯学習 スポーツ 課・ 住民課								公民館講座や文化祭でのドキュメンタリー映画の上映等を通して啓発活動を行い、また、青少年村民大会では前長野県教育長の内堀繁利氏を招き、現代の学びの在り方について講演いただきました。			
			文化・芸術 の振興	生涯学習 スポーツ課	コンサート等入場者数（延べ）	1400	1053	1,650	1,666		1,250	国際的にも活躍する演奏家のコンサートを2公演開催しました。また、14年ぶりに県民コンサートを開催し、多くの村民に観覧いただきました。			
	生涯にわたりス ポーツに親しむ 村づくり	スポーツによる健康づくり と活力の創造	スポーツによる健康増進	生涯学習 スポーツ課	週 1 日以上スポーツをする人の割合	49%	-	-	-		46%	R6年度にスポーツ庁からスポーツ推進計画の策定自体が廃止となる連絡があり、予定していたアンケート調査は未実施となりました。スポーツ推進計画は第6次総合計画の一部として謳うこととし、R7年度にアンケートを実施し、実績値を求めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	2.6	部活動の地域移行への対応の遅れが気かり。 「地域の子どもは学校を含めて地域で育てる」の理念を持ち、受け皿となる地域クラブの充実と支援事業の充実を望む。 スポーツの必要性について、子どもたちにしっかり伝えてほしい。 索道事業者との連携をもっと深めてほしい。 スキー以外には特に目立った活動が少ないのは地域的に仕方がないが、バレーボールやバスケットボール、器械体操、卓球といった分野でも伸びがあっても良いのではないかと思う。かつては、水泳、卓球といった地域的に限られない普通のスポーツで県下で優秀な成績を残せた村であるので、スキー以外でのスポーツ振興に力を入れてほしい。スポーツ振興と産業振興との混同。
					体協・総合型地域スポーツクラブ主催教室参加者数	4,700	3,990	3,810	3,844		6,000	ピラティス・卓球など大人向けの教室から、幼児向けの体操教室など実施しており、スポーツに取り組むきっかけとしての位置づけもあることから、無料体験会などの実施を含め普及に努めます。			
		子どもが日 常的に楽しく スポーツに取り 組むことが できる環境づく り	生涯学習 スポーツ課	中学生のスポーツ実施率		84.0%	-	-	-		89.0%	R6年度にスポーツ庁からスポーツ推進計画の策定自体が廃止となる連絡があり、予定していたアンケート調査は未実施となりました。スポーツ推進計画は第6次総合計画の一部として謳うこととし、R7年度にアンケートを実施し、実績値を求めます。			
					小学生のスポーツ実施率	88.0%	-	-	-		80.0%	R6年度にスポーツ庁からスポーツ推進計画の策定自体が廃止となる連絡があり、予定していたアンケート調査は未実施となりました。スポーツ推進計画は第6次総合計画の一部として謳うこととし、R7年度にアンケートを実施し、実績値を求めます。			
		スポーツ競技者 の競技力 向上	生涯学習 スポーツ課	スポーツ功労賞等受賞者数		28	30	37	40		30	体操・空手・パワーリフティング・ダンスなど、従来馴染みの無かった競技に取り組む村民が増加しています。今後も多様化に応じて競技者の活躍をサポートします。			
					スポーツ少年団登録者数	320	320	300	197		410	少子化と競技の多様化から減少傾向にあります。			
					体育協会加盟団体登録者数	1,000	930	910	766		1,300	少子高齢化により減少傾向がみられます。また、取り組むスポーツの多様化が進んでいます。登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加に努めます。			
					白馬村スキークラブ競技登録者数	50	32	34	31		70	小学生を含め競技者は減少傾向にありますが、国内外で活躍する選手の育成は確実に行われており、今後の活躍が期待されます。			
	スポーツ施設の 整備及び 充実	生涯学習 スポーツ課			社会体育施設等利用者数（延べ）	47,000	61,000	57,000	47,746		96,000	利用者が減少傾向にあります。早期に予約システムの改善を実施し、予約と利用しやすい環境の構築に努めます。			
					ウイング21利用者数（延べ）	67,000	74,000	64,000	67,463		62,000	各種団体が開催するイベントや教室の開催数により利用者数の増減があります。今後も関係団体と連携を図り利用者数の増加に努めます。			
					クロスカントリー競技場利用者数（延べ）	7,000	11,000	12,000	14,500		13,500	あそびまなびフェスを開催するなど、利用者数の増加に努めています。また、インバウンドのクロスカントリースキー利用者が増加傾向にあります。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント	
ひと__一人ひとりが 成長し活躍できる 村	一人ひとりに活 躍の場がある 村づくり	人のつなが りによる活 力の創出	若者交流・ 結婚支援	総務課	広域連携による若者交流イベント 開催回数	1	0	1	1		2	北アルプス連携自立圏による異業種交流セミナーとして共催で実施してい ます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	2.4	定住促進と子育て世代が夫婦共に働ける環境づくりと関連して推進してほしい。 進学した若者のUターンを促進してほしい。 ジャンプ競技場でのイベントは良い。さらなる進展を。行政が全て行うのは問題。	
					婚姻数	100 (42)	104 (36)	100 (41)	106 (44)		150	上段は届出総数、下段は住民登録者の件数を示しています。				
		男女共同 参画社会の 推進	女性活躍の 推進	総務課	白馬村役場の女性職員の課長・ 係長登用割合	18%	15%	30%	32%		35%	課長、係長相当44名中、女性職員14名（課長2名 係長相当12 名）。近年、増加傾向が続いています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	フレックス勤務等により女性の社会進出を望む。 役場に女性管理職がいるのは良いことである。	
					白馬村役場の女性職員の採用割 合	0%	33%	62%	60%		40%	採用人数10名中、女性職員 6 名（一般職 2 名、保健師 2 名、保育士 2 名）を採用しました。				
自然__魅力ある自然 を守る村	かけがえのない 山岳自然環境 を守る村づくり	天恵の自然 との共生	自然環境保 護	観光課 総務課 生涯学習 スポーツ課	環境配慮型トイレへの改修	0	0	0	0		2	山岳トイレは改修時に環境配慮型への移行が求められ、引き続き検討う 進めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	1.4	設備の充実も重要であるが、環境整備の財源（入山料等）も考えてほしい。 現在の村営の山小屋のし尿処理方法は問題あり。早期の改修が望まれる。	
		自然エネル ギーの利活 用	気候非常事 態宣言、ゼ ロカーボンシ ティ宣言に対 する取り組み	総務課	気候非常事態宣言、ゼロカーボン シティ宣言の行動計画の策定	ゼロカーボン ブックの作成	○	○	○		行動計画の 策定	2050年を到達目標としたゼロカーボンビジョンを実現するために、2030年 を目標としたゼロカーボンロードマップの策定を進め、骨子の策定を完了しま した。（R6年5月に、骨子を踏まえた「白馬村ゼロカーボンロードマップ」を 公表・R7年5月には行政の事務事業での排出削減を進めるための事務事 業編の策定を行いました。）	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	ゼロカーボンロードマップは広報に載ったが知っている村民は少ない。知っていたとしても誰も信じていな い。そもそも観光で人が遠距離を移動して自然豊かな場所で消費活動を行うことがゼロカーボンに繋 がるとは誰も思っていない。 重要課題ではあるが現実には厳しい。 自然環境を守る取り組みは評価できるが、もう1歩踏み込んだ政策も検討すべき。例えばEVを除くマイ カー入村規制や自然エネルギー活用施設への優遇処置なども検討してほしい。 もっと積極的に発信してほしい。 水力発電を推進する。農水省関連の助成金を当てにする事業ではないものとする。 小水力発電の推進に期待する。 電気自動車で訪れた人しか宿泊できない、スキーを楽しめない、山に行けない、など産業に負荷をかける 覚悟の施策が必要。	
				グリーンエネ ルギー・自然 エネルギーの 利活用	農政課 観光課 総務課	小水力発電量（万Kwh/年）	117	129	130	140	140	平川小水力発電は順調に稼働しました。発電機に負荷をかけない安全運 転を心掛けています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない			
						ペレットストーブ購入補助件数 （累計）	55	60	ペレット58 薪ストーブ3	ペレット60 薪ストーブ13		34→75 ペレット60 薪15	再生可能エネルギーの木質バイオマス活用のため拡充を目指します。			
						ペレット販売数量(袋)― 伐採木配布回数	0	4	3	3		1300 4	支障木やナラ枯れくん蒸材22.8tが薪利用されました。			
						低公害公用車両数	5	5	5	5	6	R6年度については、低公害車の購入はありません。公用車の更新に合わ せ、計画的に低公害車へ更新していきます。				
						EV自動車普通充電設備助成件 数	13	5	6 累計24	4 累計28	30件/累計	R6年度は申請件数が減少しました。引き続き申請者数が増えるよう、周知 や申請手段の簡素化含めて検討を行います。 中山間地の移動車両のEV化は、カーボンニュートラル実現のための重点課 題と位置付けているため、買換え需要にあわせたEV化促進に取り組みま す。				
		自然との生き 方を受け継ぐ 村づくり	守るべきふ るさとの歴史と文化の 継承	先人が築いた有形・無 形文化継承	生涯学習 スポーツ課	村の歴史や文化を知る講座やイベ ントの開催回数	24	25	15	17	15	神城断層地震から10年にあたることから、震災アーカイブ看板を巡る講座 を開催し、定員を超える申込みがありました。引き続き「山麓めぐり」、「古文 書講座」を開催した他、古文書の大切さを伝えるため、長野歴史博物館か ら講師を招き講演会を開催しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	村の歴史を知らない人が増えている。過去の自然災害も含めて歴史についての講座の充実を望む。この美しい景観や 自然を残すには規制も必要。美しい自然があつてこそ白馬村。同時にゾーニングの推進が重要。 学校教育でも取り組んでいると思うが、成果はあまり感じられない。 講座等はいよく開かれているが、講座の講師などの継承者が確保できるか不安。 事業継承者育成を図る事業に取り組んでほしい。 観光事業者は講座を受けようとしないう、平日開催では平日勤め人は参加できない。 外国人に村の歴史や文化を尊重しマナーを守ることを徹底してほしい。	
						登山・スキー の歴史・文 化の継承	生涯学習 スポーツ課	体協スキー教室参加者数	70	42	36	25	70			リフト券購入費が高額となり、自己負担の増加から参加者が減少している と推測します。白馬村民デーを活用するなど、白馬村の特性・地域環境を 活かした事業となるよう取り組みます。
				村民登山参加者数	-	27	―	―	20	8月初旬に時期を早めて計画しましたが、大雪渓ルート通行止めにより中止 となりました。						
		美しい景観を 守り育む村づくり	自然環境に 調和したまちづくりの推 進	世界水準の 観光地に相 応しい開発 基準	建設課	世界水準の観光地にふさわしい開 発基準	環境審議会 1 回	環境審議会 5回	開発審議会 1回	開発審議会 2回	-	開発調整条例の適用となる開発案件は2件です。適正な開発が進められ るよう開発審議会において指導・助言を行っています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	営業妨害になる可能性もあり難しいかもしれないが、厳しい開発規制条例を望む。この美しい景観や 自然を残すには規制も必要。美しい自然があつてこそ白馬村。同時にゾーニングの推進が重要。 白馬村が乱開発とならないよう開発審議会、景観計画策定委員会の議論に期待する。 不動産売買が活発化しているが、スプロール化しないような対策も必要ではないか。 美しい風景を守るため駅前無電柱化など継続的な整備をお願いしたい。また、リゾート地としてアク ティブに過ごす環境整備も必要。（多目的歩道：ジョギング・ウォーキング・サイクリングなど） 空き家バンク制度の成果に期待したい。 無電柱化など財源の確保が課題。 景観行政は個人の自由を制限するものであり実効性を上げるのに難しい分野である。これからが大 切であるが、現時点で一定の評価はできる。 建築関係の書類は役場の接道や農地法、上下水道などの個々の分野でしか通らないので景観関 係については遺漏のないよう対応してほしい。 屋外広告物バトロール、景観バトロールを実施するのが効果的で良い。 無電柱化が成就しても建物や広告物により景観が良くなるわけではない。無電柱化は必要条件で あって十分条件ではない。 白馬駅前の整備を早期に進めてほしい。 村道に隣接する地権者の理解・協力・連携が必要。（例えば越境する花木の剪定、植栽植物の 統一化など） 村道支障木が多い。 厳しい財政状況も理解するが国道・県道・村道の路側の草刈り回数を増やしてほしい。 村道の維持補修はよくできている。	
						美しい風景 を守るための 景観形成	建設課	景観計画の策定	景観計画 策定委員会 11回	景観計画 策定委員会 （景観審議 会）5回	景観計画策 定委員会1回	景観審議会1 回	計画策定			景観の阻害要因となる大規模事業について景観審議会議において審議し、 適切な指導・助言を行いました。
								白馬駅前無電柱化に伴う歩道の 修景距離	130m	130m	100m	100m	1,100m			長野県が行う県道白馬岳線無電柱化工事に合わせ、歩道部の修景事 業を行いました。
								屋外広告物バトロール実施回数	1 回	1回	1回	1回	1回/年			長野県との合同でバトロールを行いました。不適切な事案 3 件について指 導を行い改善が図られました。
				空き家・廃 屋対策	総務課	空き家の数	14軒	14軒	210軒	210軒	14軒	令和5年度に7年ぶりの村内全域を対象にした空き家調査を実施し、現況 の実件数を把握し、空き家データベースを整備しました。 管理不全空き家の発生抑制と空き家・空き地バンク制度の活用に向けて データの活用を図ります。				
						不法投棄・ 野外焼却の 防止	不法投棄バトロールの回数	34	35	35	35	34	週1回の不法投棄監視員による巡回を継続しています。 野外焼却や悪質な不法投棄の通報については、県や警察と連携し厳しく 指導に当たっています。また、メディアの活用やホームページ、広報はくば等 により不法投棄・野外焼却の予防啓発に努めます。			
				美しい風景 を守るための 道路景観保 全	建設課	村道管理幅の支障木、雑草の防 除	管理総延長 315km	管理総延長 315km	管理総延長 315km	管理総延長 315km	L = 10.0Km	集落支援員が減員となったため、直営作業の他業者委託により道路維持 作業を重点的に行ったほか、地区で行う沿道の草刈り作業等に対し燃料 費支弁等を行い自主活動を支援しました。（燃料費支弁 延べ27件）	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない			
						道路と景観を一にする緑地の除草 回数	3回	3回	4回	4回	5回	村道沿線の緑地部について、直営作業等により除草作業を行いました。				
						道路粉じん清掃の実施	2回	5回	5回	5回	2 回	行政区の協力により、国道及び村内主要道沿線の粉塵清掃を行いま した。				

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画 基準年 実績値	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025 後期計画 目標年	R7 2025 目標数値	R 6 実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R5実績に 対する 外部評価	R5実績に対する外部評価コメント
自然__魅力ある自然を守る村	きれいな水と 空気に囲まれ る村づくり	ごみ処理広 域化への対 応とごみ減 量化	ごみ収集・運 搬体制の強 化	住民課	地区集積場箇所数	79	79	80	80		80	引き続き区や収集事業者と連携し、利便性及び衛生面等のバランスを保ち、質の高い収集体制の構築を目指します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	観光シーズンには貸別荘を利用する観光客が多く、ごみの分別がなされない状況が見られる。本来であれば事業ゴミとして処理されるものであるが、管理者を置かない施設も多く見られる。外国人を含む観光客に対してもごみの分別やリサイクルを啓発する取り組みを通して、事業系ごみの一層の削減が必要。ごみ処理業務従事者の態度が気になる。ルールの徹底は必要であるが、言動は丁寧であるべき。アパート住民には強く指導し周知徹底を図ってほしい。（例：福島市の分別推進の施策）生ゴミリサイクルの可否を先進地の方法を分析してみたらどうか。（例：長井市のレインボープラン）収集体制は良い。村民の協力が必要。
			ごみの削減と 分別の徹底	住民課	生ごみ処理機利用世帯数	378	402	427	460		330	広報活動の結果が功を奏し、補助金利用数が半年で予算額に達しました。各家庭から出る生ごみの削減の機運が高まるよう引き続き積極的にPRを行います。			
					焼却ごみの量（t/年）	2,420	2,817	3,007			2,800				
		きれいで安 心・安全な 水環境	北ア広域連 合との連携 によるサイク ルセンターの 活用とリサイ クル率の向 上	住民課	リサイクル率	18.8%	18.8%	17.5%			30.0%	村内の経済活動の活性化により、事業系可燃ごみの増加が著しく、宿泊施設や飲食店の入替が活発なことが要因と考えられます。やむを得ず発生してしまう廃棄物のほかに、一人一人がごみの減量化に取り組めるよう、資源ごみ分別アプリの導入やあらゆる媒体により広報・啓発等周知に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果が みられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	多くの観光客を迎える村なので人口の割合に対して大きな設備を備える必要があることは理解するが、それらの設備負担金は住民に対しての応分の負担なのか疑問が残る。（その視点から見た説明もあればより良い）他県では下水道管の老朽化による事故が発生しているため、白馬村においても定期的な維持修繕をお願いしたい。大規模宿泊施設の下水道加入をチェックしてほしい。引き続き有取率向上に勤めていただきたい。災害（地震）に強いインフラ整備に期待したい。「宇宙上下水道局」は冗談でなくなってきたので、最先端科学を利用したインフラ維持管理を検討してほしい。観光産業で成り立つ自治体はインフラにお金がかかるが仕方がない。寒河江市は宿泊施設に依存しない「まちづくり」である。
			上水道の安 定供給	上下水道課	有収率の向上	43.87	44.45	46.31	48.99		60	R6年度は老朽管路更新工事及び管路漏水調査業務を21Km実施し、早期の漏水修理に努めたことにより2.68ポイントの有収率改善となりました。引き続き、漏水への注意喚起や管路更新・漏水修繕に取り組むとともに、人工衛星による漏水調査について検討します。			
			水質保全	上下水道課	良好な水源水質の持続	基準内	基準内	基準内	基準内			水質検査・指標菌検査ともにすべての項目で基準値以下を維持できています。異常気象による降雨量の増加や冬期の降雪量の増加など、原水の水量・水質について引き続き監視していきます。また、R6年度実施した有機フッ素化合物であるPFOS/PFOAについては、水道法に基づく水質基準値の1/10以下の0.005μg（マイクログラム=0.001mg）/ℓ未滿となりました。R7も独自に検査し監視します。また水源地周辺の土地についても、長野県の水資源保全地域の指定に向け作業しています。			
			ストックマネジ メントの実施	上下水道課	ストックマネジメントの実施	0	30	70	80		100	R6年度は浄化センター再構築の詳細設計に向けた場内の管渠について耐震診断を行いました。R4からの調査等は終了し、R7年度に耐震化と機器更新を一体化した詳細設計を行います。			
			効率的なし尿処理方法 の確立	住民課				30%	50%			R5から日本下水道事業団と協定を締結し基本設計を行い、R6は詳細設計を実施する予定でしたが、基本設計での概算工事費の著しい増加と工期の遅延が懸念されたため、日本下水道事業団の支援を断念し、急速、工事手法を設計・施工一括発注方式（性能発注方式）に変更し、年度内に公募型プロポーザルによる仮契約締結ができました。また、同時に進めていました用地取得事務も終了しました。R6は事業費の縮減と工期の短縮を図ることができました。引き続き、早期完成を目指します。			